

## 平成 29（2017）年度事業状況報告書

定款第 5 条第 1 項の（1）から（6）に掲げる平成 29 年度の事業計画実施概要の報告は下記の通りです。

### 記

#### 1 号事業報告：大会セミナー等事業

##### (1) JACET 第 56 回国際大会（2017 年度，東京）の開催

平成 29 年 8 月 29 日から 31 日まで青山学院大学（東京都渋谷区）において、「グローバル化が進む世界における英語—世界共通語の教育と研究における現状と課題を探る」をテーマに JACET 第 56 回国際大会（2017 年度，東京）を開催した。1,000 人の参加者があった。本大会では、基調講演 2 件（うち 1 件が State of the Art シリーズ）、海外提携学会代表による招待講演 8 件、全体シンポジウム 2 件、会長講演 1 件、名誉会長講演 1 件をはじめ、関東支部企画として特別講演 1 件、支部企画シンポジウム 1 件、支部企画青山アワーの特別ワークショップ 3 件が行われた。その他、特別委員会報告 2 件、賛助会員特別シンポジウム 3 件、研究会ポスターセッション 28 件、Doctoral Thesis ポスターセッション 5 件、支部企画グローバルポスターセッション 5 件、JAAL-in-JACET ポスターセッション 2 件、外部試験テストポスターセッション 13 件も行われ、多岐に渡る内容となった。また、一般募集の発表としては、研究発表 70 件（うち JACET 賞新人発表枠 6 件）、実践報告 39 件、シンポジウム 14 件、ワークショップ 10 件、賛助会員発表 9 件、ポスターセッション 13 件が行われた。

本大会の全体報告および基調講演、招待講演、全体シンポジウム、支部企画、特別ワークショップ、賛助会員特別シンポジウム、特別委員会報告は、12 月に刊行した『JACET 通信 200 号』に掲載し、学会ウェブサイトで会員に周知した。また、後援名義許可をいただいた文部科学省、東京都教育委員会、共催をいただいた青山学院大学への報告も行った。

##### (2) JACET 第 44 回サマーセミナー（2017 年度，東京）の開催

平成 29 年 8 月 26 日と 27 日に早稲田大学早稲田キャンパスにおいて JACET 第 44 回サマーセミナー（2017 年度，東京）を行った。“English as a Lingua Franca (ELF) in the globalized world: research and implications for practice（グローバル社会における国際語としての英語—研究と実践的応用）”のテーマのもと、ウィーン大学から Henry Widdowson 先生と Barbara Seidlhofer 先生、早稲田大学から村田久美子先生を講師として招き、2 日間の研修を行い、当該テーマについての理解を深めた。また、参加者によるポスター発表も行われ、セミナー中は活発な意見交換や情報交換が行われた。参加者は 120 人であった。講師による研究成果については Invited Paper として『JACET Journal』の次号に掲載予定である。

##### (3) JACET 第 5 回英語教育セミナー（2017 年度，大阪）の開催

平成 29 年 11 月 4 日に関西外国語大学中宮キャンパス ICC センターにおいて、JACET 第 5 回英語教育セミナー（2017 年度，大阪）が「授業学を生かす英語教育イノベーション」というテーマのもとに開催された。関東・中部・関西の各授業学研究会を中心に、「授業学」について 3 年間の見通しをもって成果を持ち寄り，研究活動の活性化をはかることをねらいとするもので，今回はその 2 年目であった。基調講演，関東・中部・関西の授業学研究会の分科会，モバイルラーニングをテーマとする分科会，賛助会員 9 社による展示およびプレゼンテーションが行われ，100 名が参加した。会員には『JACET 通信』を通じて案内し，一般向けには案内を学会ウェブサイトに掲載するほか，月刊『英語教育』、『英語青年（ウェブサイト版）』誌に掲載した。セミナーの内容は報告書にまとめる予定である。なお，本セミナーは，公益財団法人日本英語検定協会による「平成 29 年度実用英語の習得及び普及向上のための助成事業」としての助成も得た。

#### (4) 支部大会の開催

以下のように，各支部において支部大会が開催された。披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動に大きな道標となった。大会内容については，各支部ニューズレターで報告された。

- ・北海道支部大会 平成 29 年 7 月 1 日
- ・東北支部大会 平成 29 年 7 月 1 日
- ・中部支部大会 平成 29 年 6 月 3 日
- ・関西支部大会 平成 29 年 6 月 17 日，11 月 25 日
- ・中国・四国支部大会 平成 29 年 6 月 3 日，10 月 21 日
- ・九州・沖縄支部大会 平成 29 年 7 月 8 日

#### (5) 支部講演会の開催

以下のように，各支部において講演会が開催された。披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動の大きな道標となった。

- ・関東支部講演会 平成 29 年 4 月 8 日，9 月 9 日，10 月 14 日，12 月 9 日，  
平成 30 年 1 月 20 日
- ・中部支部講演会 平成 29 年 12 月 9 日
- ・関西支部講演会 平成 29 年 7 月 8 日，10 月 14 日，平成 30 年 3 月 10 日
- ・九州・沖縄支部講演会 平成 29 年 7 月 8 日，11 月 25 日

#### (6) 支部研究会等の開催

以下のように，各支部において研究会等が開催された。披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動の大きな道標となった。

- ・北海道支部研究会 平成 29 年 11 月 19 日，平成 30 年 3 月 11 日
- ・東北支部例会 平成 29 年 11 月 26 日
- ・関東支部月例研究会 平成 29 年 5 月 13 日，6 月 10 日，11 月 11 日

- ・ 中部支部研究会                      平成 29 年 10 月 21 日, 平成 30 年 3 月 3 日
- ・ 中国・四国支部地区大学間連携イベント Oral Presentation & Performance (OPP) 研究会  
平成 29 年 12 月 17 日

## 2 号事業報告：出版物刊行事業

### (1) 『紀要』の刊行

平成 30 年 2 月 22 日に『JACET Journal』62 号を刊行した。会員より応募された論文，リサーチ・ノート，及びブックレビューの 3 つの分野における論文を厳正に審査し，掲載，非掲載を決定した。会員及び英語教育関係機関（国立国会図書館，大学基準協会，コンピュータ利用協議会，全国語学教育協会，海外提携学会等）へ送付し，日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

### (2) 『Selected Papers』の発行

平成 29 年 8 月に『JACET International Convention Selected Papers』4 号を発行した。国際大会で口頭発表（一般ポスター発表も含む）した発表者の学術研究を奨励し，論文発表の機会を与えるため，また海外の学会や英語教育関係者に日本の研究をリアルタイムで発信するため，電子ジャーナル（オンライン）として発行した。

### (3) 『JACET 通信』の刊行

- ① 平成 29 年 12 月 1 日に『JACET 通信』200 号（日本語，印刷版およびウェブ版）
- ② 平成 30 年 3 月 13 日に『JACET 通信』201 号（英語，ウェブ版）

通信を 2 回刊行し，大学英語教育関連の情報発信に寄与した。大学英語教育関連の情報発信に寄与した。学会の最近の動向や優秀な大学英語教育を紹介することにより，会員の大学英語教員としての意識を向上させることができた。また，国内の他学会からの寄稿により，学際的な教育や研究の動向を知ることもできた。①は 200 号という節目の号であったため，『JACET 通信』の歴史を振り返る」と題する特別企画記事を掲載し，学会活動の歴史の確認・継承に資するものとなった。

### (4) 支部紀要の発行

各支部で紀要を発行し，会員及び英語教育関係者等へ送付した。支部紀要は，支部会員の学術研究を奨励し，論文発表の機会を与えた。また，日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

- ・ 『北海道支部紀要』14 号                      平成 30 年 3 月 16 日
- ・ 『TOHOKU TEFL』7 号                      平成 30 年 3 月 31 日
- ・ 『関東支部紀要』5 号                      平成 30 年 3 月 31 日
- ・ 『中部支部紀要』15 号                      平成 29 年 12 月 20 日
- ・ 『JACET Kansai Journal』20 号                      平成 30 年 3 月 31 日

- ・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』15号 平成30年3月31日
- ・『Annual Review of English Learning and Teaching』22号 平成29年11月30日

#### (5) 支部ニューズレターの発行

各支部でニューズレターを発行し、支部活動動向や、支部会員への英語教育に関する情報提供と情報交換を行った。

- ・『JACET 北海道支部ニューズレター』31号 平成30年3月31日
- ・『JACET 東北支部通信』44号 平成30年3月31日
- ・『JACET 関東支部ニューズレター』9, 10号 平成29年10月30日, 平成30年3月31日
- ・『JACET Chubu Newsletter』38, 39号 平成29年5月10日, 平成30年1月20日
- ・『JACET Kansai Newsletter』77, 78, 79号 平成29年5月20日, 7月31日, 11月1日
- ・『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』19, 20号  
平成29年7月30日, 平成30年1月10日
- ・『九州・沖縄支部ニューズレター』33号 平成29年4月15日

### 3号事業報告：表彰事業

#### (1) 大学英語教育学会賞の表彰

第56回（2017年度）国際大会の初日（平成29年8月29日）と最終日（平成29年8月31日）に、英語教育における研究または実践上の顕著な業績を通してわが国における大学英語教育の改善と進歩・発展に寄与した本学会員である個人または団体に対して表彰を行なった。受賞者に対しては賞状とともに記念品を贈呈した。

平成29（2017）年度大学英語教育学会賞

##### ・学術出版部門

受賞者：村田久美子（早稲田大学）、矢野安剛（早稲田大学）、寺内一（高千穂大学）、荒木瑞夫（宮崎大学）、飯野公一（早稲田大学）、小中原麻友（神田外語大学）、土屋慶子（横浜市立大学）、Henry Widdowson（University of Vienna）

対象業績：『Exploring ELF in Japanese Academic and Business Context: Conceptualisation, research and pedagogic implications』（Routledge, U.K. 2016）

##### ・新人発表部門：

受賞者：Newbery-Payton, Laurence（東京外国語大学大学院生）

対象業績：研究発表“Preposition Errors by Japanese Learners of English: A Learner Corpus Based Analysis”（大学英語教育学会第56回国際大会（2017年度、東京）平成29（2017）年8月30日発表）

その他の部門に関して、今年度は該当者がなかった。

### 4号事業報告：協力事業

(1) 関係学術団体への派遣Ⅰ（海外提携学会）

① KATE (The Korea Association of Teachers of English)

平成 29 年 6 月 30 日から 7 月 1 日に大韓民国で開催された KATE 2017 International Conference に本学会より学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

② AILA (Association Internationale de Linguistique Appliquée) EIBC

AILA (国際応用言語学会) リオデジャネイロ大会 (平成 29 年 7 月 23 日から 28 日) の前に行われた EBIC business meeting (平成 29 年 7 月 21 日, 22 日) に, AILA 担当で AILA EBIC メンバーでもある委員を派遣し, 平成 32 (2020) 年の Groningen 大会の準備状況, AILA 会員登録, 平成 35 (2023) 年大会等について報告・協議が行われた。

③ ALAK (The Applied Linguistics Association of Korea)

平成 29 年 9 月 9 日に大韓民国で開催された ALAK 2017 International Conference に本学会より学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

④ MELTA (Malaysian English Language Teaching Association)

JACET 国際大会と会期が重なったため平成 29 年度の派遣はなし。

⑤ PKETA (Pan-Korea English Teachers Association)

平成 29 年 9 月 23 日に大韓民国で開催された PKETA 2017 に本学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑥ CELEA (Chinese English Language Education Association)

平成 29 年 10 月 20 日から 22 日に Xi'an で開催された The 8th International Conference on English Language Teaching (ELT) に本学会代表者 2 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑦ ETA-ROC (English Teachers' Association of Republic of China)

平成 29 年 11 月 11 日から 13 日に台湾で開催された The 26th International Symposium and Book Fair on English Teaching に本学会より学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑧ Thai TESOL (Thailand TESOL)

平成 30 年 1 月 26 日, 27 日にタイ王国で開催された The 38th Annual Thai TESOL International Conference に本学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑨ RELC (Regional Language Centre)

平成 30 年 3 月 12 日から 14 日にシンガポール共和国で開催された 53rd RELC International Seminar に本学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

(2) 関係学術団体への派遣Ⅱ（国内提携学会）

#### ① JALT (The Japan Association for Language Teaching)

平成 29 年 11 月 17 日から 20 日に茨城県で開催された 2017 年 JALT 年次大会に本学会代表者 1 名を派遣し、提携学会関係者との意見交換を行った。

#### (3) 提携学会からの代表者受け入れ

##### ① JACET 国際大会での Reception 開催

平成 29 年 8 月 29 日に開催された第 56 回 (2017 年度) 国際大会学術交流レセプションに提携学会からの代表者を招待し、親睦を深めるとともに情報交換を行った。

##### ② JACET 国際大会での招聘発表の実施

平成 29 年 8 月 29 日から 31 日に開催された第 56 回 (2017 年度) 国際大会に、国外・国内提携学会からの代表者を招聘し、学術交流、協力活動に関する事業を計画し、招待講演に関わる手配、アテンドなどを行うことで友好的な関係を促進した。

### 5 号事業報告：調査研究事業

#### (1) 実態調査

大学英語教育の実態調査を行うために 10 回の会議を開催した。大学で英語を教える教員を対象に質問紙調査を実施し、全国の英語教員 853 名から回答を得た。この結果、英語教育は 10 年前と比べて、雇用形態、雇用状態、教育環境など、大きく変化していることがわかった。

#### (2) 専門分野別の研究会活動

48 の研究会がそれぞれの分野での調査研究を基盤として、会員の資質向上、書籍出版、教材開発、紀要等での論文発表などの活動を行った。それにより、大学英語教育の発展に寄与し、会員相互の専門知識と技能の向上、会員の知見による学術の発展及び社会への還元を行った。また、各研究会の研究成果物を可能な限り公開できるように、そのための整理を行った。

### 6 号事業報告：その他 法人事業

#### (1) 理事会の開催

平成 29 年 5 月 21 日、平成 29 年 6 月 18 日午前、平成 29 年 6 月 18 日社員総会后、平成 29 年 8 月 28 日、平成 29 年 12 月 24 日、平成 30 年 3 月 18 日の計 6 回、理事会を行った。

#### (2) 社員総会の開催

平成 29 年 6 月 18 日に平成 29 年度定例社員総会を行い、平成 28 年度決算、平成 29 年度人事、諸規程の承認等を行った。内容はウェブサイトおよび『JACET 通信』で報告した。

#### (3) その他の委員会の開催

定例の各運営委員会，運営会議，顧問会議，支部委員会，支部役員会を適宜行った。

(4) 会員総会の開催

平成 29 年 8 月 30 日に会員総会を行った。平成 28 年度事業報告および平成 29 年度活動状況の報告を会員に行った。出席しなかった会員へは『JACET 通信』で内容を報告し，事業活動を会員へ周知した。

(5) 『会員名簿』の刊行

会員情報の提供，定款等規則の開示を目的として『一般社団法人大学英語教育学会（JACET）会員名簿』を平成 29 年 12 月 1 日に発行した。

(6) 公益目的支出計画最終報告書の提出

平成 28 年度決算に基づいて報告書を提出し，4 年間の公益目的支出計画を全て終了した最終報告を内閣府に提出した。

(7) 支部総会の開催

各支部において，支部総会を開催した。

- ・北海道支部総会 平成 29 年 7 月 1 日
- ・東北支部総会 平成 29 年 7 月 1 日
- ・関東支部総会 平成 29 年 6 月 10 日，11 月 11 日
- ・中部支部総会 平成 29 年 6 月 3 日，12 月 9 日
- ・関西支部総会 平成 29 年 11 月 25 日
- ・中国・四国支部総会 平成 29 年 6 月 3 日
- ・九州・沖縄支部総会 平成 29 年 7 月 8 日

(8) 委託研究の実施

公益財団法人日本英語検定協会から申し出のあった委託研究を行った。委託研究課題名は「大学英語教育の質保証に向けた EAP カリキュラム実態把握のための調査研究—本調査—」。本調査研究の最終年度である平成 29 年度は，平成 28 年度までに収集したデータのさらなる分析と研究の総括を行った。

以上